

藤田寛之

福田正博

川内優輝

仁志敏久

大神雄子

スポーツピア

3/14(火)

国内ツアーはここ数年、男女で明暗がくつきり分かれている。男子は開幕も遅く、試合日程は隙間だらけ。過密スケジュールで盛況の女子に水をあけられている。プロアマ大会や前夜祭で、ゲストの方に「女子は楽しくて、いいよね」と面と向かって言わわれるのは、ちょっとつらい。

フレッシュな若手が続々登場する女子ツアーは、大会スポンサーにとって重要な「企業接待」の場であるプロアマ戦の評価が高い。賞金女王の鈴木愛さんや韓国勢ら実力者と、浅野日向子さんに代表される若手の対決あるいは黄

金世代同士の優勝争いなど、面白い図式がはつきりして、など海外に挑戦している。自分が活躍するステージを上げ

C(静岡)で開催されるヤマハ女子オープンの解説をしているが、難しいコースセッティングなのに好スコアで回っており、競技レベルも高くな

る。男子は華やかだ。ファンやメディアの関心を集めやすく、興行面でも成功している。

私は毎年、所属先の葛城G界に通用する選手の育成」を掲げているが、その一方で国

内の「空洞化」を招き、ジレ

ンマに陥っている。選手の危機感は半端じやない。プロアマ戦ではフレンド

orbを描くはず。プロアマ戦で「金剛参考にならないよ」と言われるが、「まるで違う」と

競かせるのもプロの仕事だ。株価でいえば男子は今が底値、「買いたい」と思いたいが、まずは選手それぞれがもつと

腕を磨き、レベルアップするリードに会話しながらラウンド

は人が相手ではなく、コースの戦い。それでも、同世代の仲間には負けたくないと言っている印象がある。ゴルフ

リード(60人)のほぼ半数が外国との戦い。アンサーサービスやイベント協

力、SNSを通じた情報発信権手は技術という点で物足りない。若手は現状をしつかり

命やっている。それでもアイドルグループと見まがうよう

な女子ツアーの面々と比較されることは少ない。女子プロは少なくなくなり、ライバル意識が火花を散らし、試合を面白くしている

のかかもしれない。男子にはかつての「AON」のよななツアーや、浅野日向子さんに代表される若手の対決あるいは黄綱が見当たらない。松山英樹

ボールのスピンドロード、トラブルショットなど男の「本質」を磨くことしかないと。弾道一つとっても、アメリカの方とぼつか離れた弧を描くはず。プロアマ戦で「金剛参考にならないよ」と言われるが、「まるで違う」と競かせるのもプロの仕事だ。株価でいえば男子は今が底値、「買いたい」と思いたいが、まずは選手それぞれがもつと腕を磨き、レベルアップする必要がある。今季の賞金シード(60人)のほぼ半数が外

勢。はつきり言って、日本の選手は技術という点で物足りない。若手は現状をしつかり

命やっている。それでもアイド把握して、ショットにすこみを加え、よりハイレベルな勝

負を見せないと、ファンやスポンサーに愛想を尽かされかねないだろう。

我々にできるのは飛ばしや

(プロゴルファー)

藤田實

高門正博

川内優輝

仁志敏久

大神雄二

スポーツア

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で出場予定だった5月第1週までの8大会が中止や延期になった。この厳しい状況では耐えるしかないが、今は未来を信じてできることを継続することしかない。その中に9駆け

月に延期されたボストン・マラソンがある。国内の主要会は必ずすべてスマーカーがくが、ボストンは勝負駆け引きに誇りを持つている伝統ある大会だ。誰が勝つか分らないマラソンの面白さが縮されたレースといえる。

「一で突っ込んだ。普段なら考えられないレースの入りだが構わず、集団に吸収されてからも下り坂になるたびに前方で揺さぶった。早めのスタートを仕掛けたジョフリー。キルイ(ケニア)が落ちてしるのが見えて逆転できたのは、40キロ過ぎ。序盤からかき乱して周囲の体力を奪う策がうまかった。自分ベストは上がり11番目。単なる速き勝負にさせたかった。ペースメーカー少なかった。ペースメーカーがないからこそ、やり切れた戦略だった。高速コースのペルリンでは、いははならない。作

駆け引きの妙味

ベースメーカーはサポートで、アーチャーも渠である。14年のブアルクでの欧洲初のサブマリーナ（2時間10分切り）には、今まで引っ張ってくれたペイメントまで存在がある。

会の格よりも記録重視。遅刻に力点が置かれ、ペースメーカーの「バックアップ」は欠かせなくなっている。一方でマラソンが持つ駆け引きや勝負心の醜い面が薄まっている氣もする。昨年9月のマラソンングランプリ（MGC）があれだけ盛り上がりたのは、筋書きがなかつたからだろう。五輪や世界選手権でも自己ベストでは日本代表よりも遅い選手がメダルを取ることが度々起る。

ボストンを含め、私の競技人生もペースメーカーがいい方があつた。スピードだけでほしい相手でも、戦術を練つて最初から駆け引きでされば戦いようがある。記録も重要。ただ、マラソンの本来の価値はそれだけではないと思っている。

（プロランナー）